

1

教師海外研修プログラムの概要



ナイル架橋にて

教師海外研修プログラムの目的

本研修は、国際理解教育開発教育に関心を持つ学校教師及び教育委員会の指導主事等(以下、「教師」という)を対象に、実際に開発途上国を訪問することにより、(1) 開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を、学校現場での授業実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらふこと、(2) 研修参加後、JICA 筑波と協力し、教育現場等で国際理解教育開発教育を推進する中核となつてご活躍いただくことを目的として実施しています。

実施体制

(1) 主催

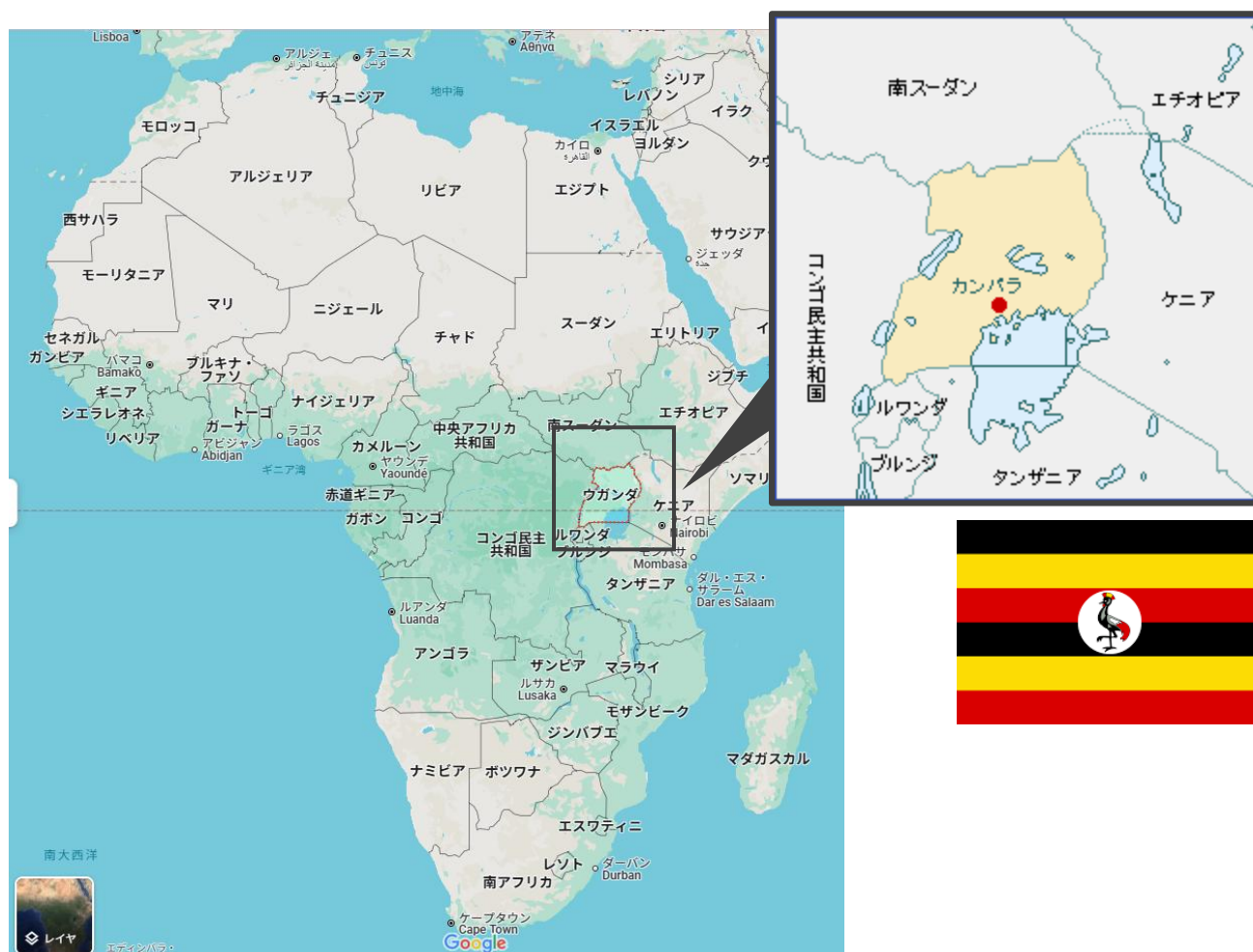
独立行政法人 国際協力機構 筑波センター(JICA 筑波)

(2) 後援

外務省、文部科学省、茨城県教育委員会、栃木県教育委員会、栃木県私立中学高等学校連合会、公益財団法人栃木県国際交流協会、茨城県高等学校国際教育研究協議会

派遣国

2024 年度の派遣国:ウガンダ共和国



GoogleMap、<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uganda/index.html> より

- (1) 面積 4.1 万平方キロメートル(ほぼ本州大)(陸地面積 19.7 万平方キロメートル)
- (2) 人口 4,427 万人(2019 年、世銀)
- (3) 首都 カンパラ
- (4) 民族 バガンダ族、ランゴ族、アチョリ族等
- (5) 言語 英語、スワヒリ語、ルガンダ語
- (6) 宗教 キリスト教(6 割)、伝統宗教(3 割)、イスラム教(1 割)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uganda/data.html> より

応募対象と資格要件

下記 1)を募集対象に、2)～7)をすべて満たすことを参加資格要件としました。

- 1) 茨城県、栃木県内の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校(1～3 年生を担当)、特別支援学校の教員及び教育委員会の指導主事の方。
- 2) 本研修参加後に学校現場での継続的な実践に十分な勤続年数を有している方。
- 3) 所属する学校の校長もしくは教頭(教育委員会であれば所属長)の推薦があること。
- 4) 過去に、本研修、JICA ボランティア事業、JICA 専門家等及び ODA モニター/国際協力レポーター等で海外に派遣された経験がないこと。
- 5) 本研修の趣旨・目的を十分理解し、同研修の実施及び、以後 JICA が実施する国際理解教育/開発教育支援事業に継続的に協力可能であること。
- 6) 原則として、国内研修及び海外研修の全行程に参加可能であること。
- 7) 研修国の事情を勘案した上で、参加するに耐えうる健康状態であること。
※参加決定者には、健康に支障のない旨の確認書をご提出いただきます。
- 8) 帰国後、2 週間以内に海外研修報告書を提出することに同意すること。
- 9) 帰国後、本研修の定めた期間内に所属校において授業の実践を行い、当該授業の実践報告書を提出し、JICA のウェブサイトにて一般公開されることに同意すること。
- 10) 参加者メーリングリストでの情報共有に賛同いただけること。

参加者

2024 年度教師海外研修プログラムの参加者は次の 8 名です。(あいうえお順)

No	氏 名	校種	所属	教科	学年
1	内山 俊太	中学校	高萩市立松岡中学校	英語	3 年生
2	小川 知美	中学校	守谷市立愛宕中学校	英語	3 年生
3	北平 浩美	特別支援学校	栃木県立のぞわ特別支援学校	英語	高等部 2 年生
4	後藤 千春	高等学校	栃木県立足利南高等学校	地歴・公民	3 年生
5	土井 菜奈子	中学校	栃木県佐野市立北中学校	英語	1 年生
6	堀内 雅人	高等学校	茨城県立水戸農業高等学校	農業	2 年生
7	牧之段 はるか	高等学校	茨城県立牛久米進高等学校	国語	2 年生
8	増田 萌	高等学校	栃木県立佐野高等学校	保健体育	1 年生

同行者

同行者は以下の3名です。

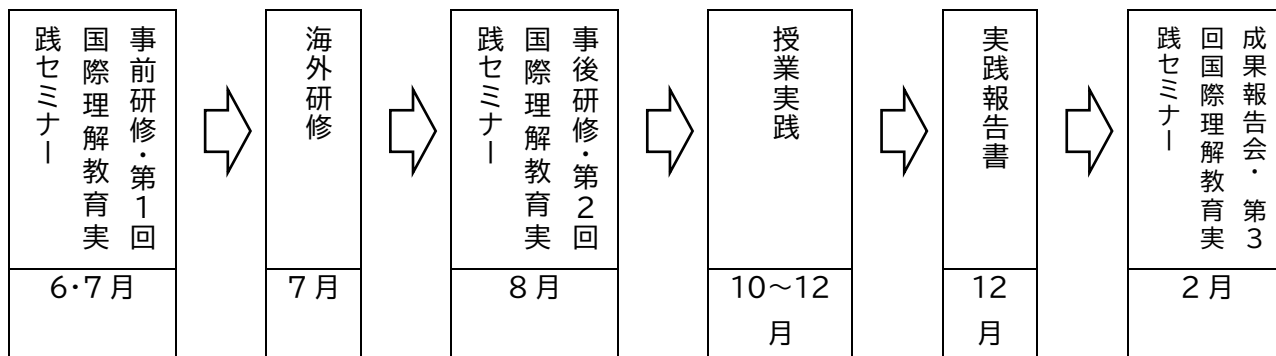
氏 名	所属
西岡 美紀	JICA 筑波 連携推進課
野口 孝之	JICA 筑波 連携推進課
張 梨香	認定特定非営利活動法人 SALASUSU(事務局)

また、茨城新聞と下野新聞の記者2名がメディア派遣として教師海外研修に同行、取材を行いました。
(詳しい取材内容については「取材記事紹介」に記載)

氏 名	所属
高橋 亮	JICA 筑波 所長
橋本 裕太	下野新聞社
木村 優斗	茨城新聞社

研修全体のスケジュール

教師海外研修プログラムの各研修・報告会の日時・場所等は以下のとおりです。



研修	日時(場所)	内容
派遣前研修	2024年6月15日(土) ・6月16日(日) (JICA筑波)	● 研修目標の理解 ● 開発教育国際理解教育の基礎 ● 派遣国概要(JICA 事業概要、JICAアフリカ部による協力概要、JICA海外協力隊体験談、ウガンダ研修員との交流) ● プログラム説明、渡航手続き ● 交流授業準備、過年度参加者との意見交換、ワークショップ等
海外研修	2024年7月21日(日) ～7月31日(水) (ウガンダ)	JICA 事業(技術協力プロジェクト、ボランティア事業等)の視察及びJICA関係者との交流、現地の学校訪問、教材等の収集
帰国時研修	2024年8月26日(土) (JICA筑波)	海外研修の振り返り、今後の授業案作り、情報共有
授業実践	10月～12月 (各勤務校)	研修での学びを各勤務校における授業実践を通じて還元
成果報告会 (茨城)	2025年2月8日(土) (JICA筑波)	● 授業実践報告を含む研修成果についての発表 ● 最終振り返り及び修了式
成果報告会 (栃木)	2025年2月22日(土) (とちぎ国際交流センター)	授業実践報告を含む研修成果についての発表

※「国際理解教育実践セミナー」は、国際理解教育/開発教育の概念、参加型学習の考え方や方法などの習得を通して、茨城、栃木県内の国際理解教育/開発教育の中核的な指導者を育成する研修です。